

分科会 2

運営委員：秋草 誠（秋草学園短期大学）

参加者18名、事前に当日に自己紹介・大学紹介・「元気のもと」とは「何か」を、記入したA4のペーパーを準備するように伝えた。

分科会研修 1 7月1日(水)

① 自己紹介・大学紹介（一人2分程度）

全員が、事前に用意した自己紹介資料を配布し、自己紹介及び大学紹介をした。予定の時間で効果的に、メンバーの相互理解と分科会の雰囲気づくりができた。その後4つのグループにわかれて着座した。

② 最終日に「みんなで作る元気のもと」を分科会ごとに発表がある旨を伝えた。「みんなで作る元気のもと」といわれても、経験も年齢も違うメンバーで考えることが難しいと予測できたので、チームで考える違った視点を必要とした。その結果、翌日の分科会を円滑に運営するために「あったらいいな、こんな大学広報」というタイトルで、KJ法を用いて何を話し合うかグループの方向性を確認し、各短大の現状と課題の情報交換をした。

分科会研修 2 7月2日(木)

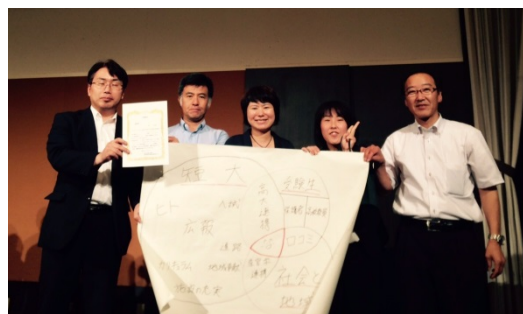
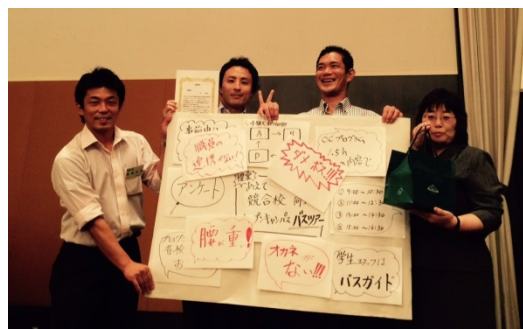
① 「みんなで作る元気のもと」には正解はなく、チームで考えた気づきやアイデアが生まれることを目的としている旨を伝え4グループに分かれて活動した。各グループで、相互に情報交換をしながら前日確認したテーマについて活発な討議を行った。

② グループ発表の準備

3日目の全体発表に向けて第2分科会として、「あったらいいな、こんな大学広報」を作る過程で「みんなで作る元気のもと」とは「何か」をKJ法で整理しながら発表に備えた。

③ 各短大パンフレットの投票と表彰

休憩時間に18短大の大学案内に投票し合い上位3短大を表彰した。



分科会発表 7月3日(金)

① 分科会討議

第2分科会では、当初、4グループが発表することとしたが、リハーサルのために発表を実施した結果、グループの発表がまとめられた発表があったため、そのグループの発表をバージョンアップすることとした。司会は4グループの発表時に表現力のあったKさんが満場一致で選出された。

② 分科会発表準備

発表のためバージョンアップしたものを、全員が応援するような演出を考え、リハーサルを数回行った。

③ 全体会発表は、2位という素晴らしい結果となった。



〈分科会を終えて〉

(運営委員 秋草誠)

第2分科会で冒頭に説明したことは、この研修会の目的は正解を求めるものではないことを伝えた。今まで他の研修会やセミナーに参加する多くの方が、他短大の事例を聞いて感動し、自大学に持ち帰って実施しようと尽力をするが、実現できずモチベーションが下がってしまうことを耳にしていた。本研修の目的は、他大学の事例を聞いて自大学に持ち帰り、自大学のサイズに合わせて実行できる能力を養うこと、困ったときに助け合えるネットワークを作ることだと説明した。年齢も立場も違う方々が集い、互いの知恵を出し合った成果は、見事なものとなっていた。今回の研修を通じて気づいたことは、「みんなで作る元気のもと」とは、コミュニケーションを大切にして互いをリスペクトすることだと思った。